

2016年12月9日
日本コンサルタンツ株式会社
日本工営株式会社
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

「インド国高速鉄道建設事業詳細設計調査【有償勘定技術支援】」の 受注・契約について

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区）、日本工営株式会社（本社：東京都千代田区）、株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都新宿区）は、この度、独立行政法人国際協力機構（JICA）より、インド国高速鉄道建設事業詳細設計調査【有償勘定技術支援※】を共同で受注し、2016年12月9日に同機構と契約を締結しました。

2015年12月12日の安倍首相とインドのモディ首相による首脳会談及び同日の共同声明を踏まえ、日印両国政府は「高速鉄道に関する日本国政府とインド共和国政府との間の協力覚書」を署名し、ムンバイ・アーメダバード間高速鉄道において日本の新幹線方式が採用されることとなりました。

その後、両国政府間の協議により、同区間の高速鉄道建設事業のための設計および入札書類（案）の作成と入札支援をJICAの発注にて執り行う事となり、このたび、当該業務を日本コンサルタンツ（主幹事会社）、日本工営、オリエンタルコンサルタンツグローバルの3社による共同企業体（JV）が受注いたしました。

同計画は、インド西部の大都市であるムンバイ・アーメダバード間505kmを営業最高速度320km/hで最速で約2時間で結ぶ計画です。また、同区間には日印共同調査の最終報告書に基づき、12の駅を建設することが予定されています。

本プロジェクトは、JICAの有償勘定技術支援のスキームにて執り行われ、ムンバイ～アーメダバード間の高速鉄道の車両・土木構造物・電力・信号・システム等の設計、事業の入札で使用される入札図書案の作成および、カウンターパート機関に対する入札支援を上記3社JVにて実施いたします。

※有償勘定技術支援：専門家の派遣、当該国からの研修の受け入れ、施設の整備等の組み合わせにより、円借款事業の迅速化や開発効果の増大をはかる事業を指します（出典：国際協力用語集）

<契約概要>

- (1) 事業名： インド国高速鉄道建設事業詳細設計調査【有償勘定技術支援】
- (2) 事業概要： ムンバイ～アーメダバード間設計等の案の作成、入札図書案の作成および入札支援等
- (3) 実施期間： 2016年12月～2020年3月（計39ヶ月の予定）
- (4) 主な成果物：
 - ・高速鉄道の車両・土木構造物・電力・信号・システム等の設計案
 - ・事業の入札で使用される入札図書案
 - ・インド側実施機関が入札結果を評価するに当たっての入札支援

<プロジェクト概要>

- (1) 区間： ムンバイ～アーメダバード間 505km
- (2) 営業最高速度： 320km/h（上記505kmを最速で約2時間）
- (3) 建設駅数： 12駅（予定）

